



願い

新年度が始まり、1週間が経ちました。生徒の皆さんは、新しい環境やクラスにも少しずつ慣れ始めてきた頃でしょうか？

さて、今回の学校通信では、浅江中学校の生徒指導についてのお話をしていきたいと思います。

先日、全校集会でこのような話をしました、「生徒指導とは、“願い”なんだよ。」と…

こんな人間になってほしいという先生方の“願い”なんだと。そして、保護者の皆様におかれましても、お子様にこうなってほしい、こんな大人になってほしい等、さまざまな“願い”があると思います。

中学校生活には、さまざまなルールやきまりが存在します。また、これまでの浅江中学校の生徒が伝統的に大切にしてきた価値観や校風もあります。これらも、ひとつの“願い”です。ルールやきまりの裏側にある“願い”、浅江中の先輩たちが残してくれた“願い”…

生徒たち自身にも“願い”があると思います。生徒自身の“願い”をベースにしながら、保護者の皆様、先生方、先輩たちの“願い”を受け継ぎながら、前進していく。子どもの成長とは、そのようなものなのではないでしょうか。

あへじそお



浅江中学校 具体的行動目標



その“願い”を具体化したものとして、浅江中学校では、生徒の行動目標・指針である「あへじそお」を定めています。そして、その裏側には、このような意味があるんだということも、同時に伝えていくべきだと思います。

そこで、今回は「そ・揃える」についてのお話をしたいと思います。次の言葉は、イエローハット創業者である鍵山秀三郎氏の言葉です。

あへじそお

あいさつ 良い返事

ヘルス 心身の健康

つながら 授業 時間を意識

揃える 物・環境・心

思いやり 音・人・ネット

人は いつも見ている物に 心も似てくる

人は、目にする物に自然と影響を受けます。汚い環境で育てば、きれいな心が育ち難いものです。

下駄箱の靴、カバン、トイレのスリッパ、先生への提出物、教室の机、授業前の勉強道具、そして服装…生徒が日常的に学校で目にする物、それらが、揃っていることや整っていることで、学校の雰囲気は落ち着き、集団の心が一つに結束していくのではないのでしょうか。

新しい集団、新しい環境、新しい学校生活…何かと切り替わる4月のこの時期。「物を揃えて、気持ちを揃える」ことを意識した学校生活を送ってほしいと思います。願わくば、保護者の皆様の“願い”と浅江中学校の“願い”が同じ方向を目指して、生徒のより良き成長の助けとなれば幸いです。